

誰に翻訳を依頼する？ 「少年の日の思い出」

本単元で育成する資質・能力

情報収集力、情報活用能力、表現力

日 時 平成29年2月16日（木）5校時（14:00～14:50）
場 所 1年A組教室
学年・組 第1学年A組（男子14名，女子9名，計23名）

単元について

本単元は、学習指導要領「読むこと（エ）文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えを持つこと。」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（イ）語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し，語感を磨くこと。」を承けて設定したものである。

本単元で扱う「少年の日の思い出」は、ヘルマン・ヘッセによる自伝的短編で、平成28年度の国語教科書に収録されているものは、すべて高橋健二による翻訳である。この翻訳文には、登場人物の心情を読解するうえで、注目すべき表現が見られる。具体的には、「熱情」「悪徳」などの独特の言いまわしや、「四つの大きな不思議な斑点」を主語にした擬人法などである。これらの表現が、登場人物の心情を読解するうえで、大きな役割を果たしている。そのため本教材は、表現の特徴や、語句の果たす役割について考えさせるうえで、適切である。

また、「少年の日の思い出」には、高橋に師事した岡田朝雄による翻訳も存在しており、平成14年度の三省堂の教科書に、読書教材として収録されている。高橋訳と岡田訳とでは、それぞれ文体が異なるため、比較することで、文章表現について考えをもつ契機にすることができる。

そこで、本単元では、2つの翻訳文を比較することを通して、表現の特徴や語句の果たす役割などの国語科の「見方、考え方」を基に自分の考えを述べる力を付けることをねらう。

本単元を通して付けた力は、総合的な学習の時間【地域探訪Ⅱ】において活用したい。当該単元においては、小グループで地域に係わる発表をする。その際、表現の特徴や語句の果たす役割について考えを述べる力が付いていれば、それぞれの発表を評価し、よりよく改善していくことができる。

なお、平成28年度の広島県「基礎・基本」定着状況調査には、金子みすゞによる2つの詩を比較し、論を組みたてる問題（五2）が出題されている。このことから、文章を比較して考えをもつ力の育成が必要であるといえる。

生徒観

表現の特徴や語句の果たす役割について考えを述べる力を測定するために、以下のレディネステストを実施した。

レディネステスト 平成28年12月19日 生徒22名に実施

設問1 内藤濯訳の「星の王子様」と、池田夏樹訳の「星の王子様」の違いを箇条書きするもの。
設問2 内藤濯訳の「星の王子様」と、池田夏樹訳の「星の王子様」のどちらの続きを読みたいか、立場を決めて理由を記述するもの。

その結果は次の通りである。

設問 1 について

類型 1 : 違いを複数書いている。	40.9% (9名)
類型 2 : 違いを 1 つ書いている。	36.4% (8名)
類型 3 : 違いを書いているが、不適切である。	22.7% (5名)
類型 4 : 無回答	0%

設問 2 について

類型 1 : 設問 1 の答えを根拠に用いている。	59.1% (13名)
類型 2 : 設問 1 の答えを根拠に用いていない。	40.9% (9名)
類型 3 : 無回答	0%

設問 1 の結果から、「2つの文章を比較して、違いを書く」ことに課題があると考えられる。77.3%の生徒が、違いを書くことはできているものの、36.4%の生徒は、違いをひとつしか書けていないためである。

また、設問 2 の結果から、「2つの文章の違いを、考えの根拠として用いる」ことにも課題があると考えられる。40.9%の生徒が、設問 1 の解答 (= 2つの文章の違い) を根拠とせず、無関係な事項を根拠としていたためである。

以上の結果から、表現の特徴や語句の果たす役割について考えを述べる力は十分に育っていないと判断する。

さらに、設問 1 において「適切な解答」(類型 1, 類型 2) をしていた生徒 17 名について、解答の質的分析を行ったところ、以下のような結果となった。

設問 1 の「適切な解答」の質的分析 (17名)

類型 A : 文章の全体的な違いを記述している	94.1% (16名/17名)
類型 B : 文章の部分的な違いを記述している	41.2% (7名/17名)

※ 数値はのべ人数。両方を書けている生徒は、両方にカウントした。

類型 A には、具体的か抽象的か、常体か敬体かなどの全体的な印象を記述したものを分類した。

類型 B には、文章中から語句を引用したうえで、違いを記述した解答を分類した。

生徒解答の傾向は、類型 A に偏っており、全体的な印象をつかむことはできるが、語句に着目することは不得意である傾向が見てとれる。

以上の傾向から、まず、文章の語句に着目して違いに気づかせる指導が必要である。さらに、これらの違いを根拠として論を組み立てるように、指導していく。

指導改善のポイント

【本校の育成しようとする資質・能力】

- 課題発見力 ○課題解決力 ○情報収集力 ○情報活用能力 ○表現力・コミュニケーション力
- 主体性・積極性
- 自らへの自信

■単元学習後の具体的な姿に到達するための指導

生徒に、語句について理解を深め、文章表現について考えをもつ力をつけるために、日々の授業に

において、次の（１）～（３）のことに継続して取り組む。

- （１）個人思考の場面では、特定の表現に着目し、どのような効果があるかを考えさせる。
- （２）集団思考の場面では、小グループで情報を交流することにより、どんな論が組み立てられるか考えさせる。
- （３）授業のまとめの場面では、小グループそれぞれの論を発表しあうことを通して、自ら考えたことの妥当性を検討させる。

■小学校及び既習事項との連続性を生かした指導

日常的に辞書を用いて、語彙を増やしていくように指導する。

■広島版「学びの変革」アクション・プラン（アクティブ・ラーニング）の取組について

<主体性>

- 生徒自らに選択させる。（A・L視点①）
 - ・ 2つの翻訳文のどちらを支持するか選択させることで、主体的に学習に取り組めるようにする。
- 生徒が自分事として当事者意識を持てる課題を設定する。（A・L視点②）
 - ・ パフォーマンス課題を設定することで、2つの翻訳文のどちらかを支持するという学習活動に必然性を与え、主体的に取り組めるようにする。

<協働性>

- 必然性のある小グループ活動をさせる。（A・L視点③）
 - ・ 自分の考えをもち（正）、他の人の異質な考えを取り入れ（反）、新しい知見を生み出す（合）対話的な学びを行う。

単元の評価規準

<単元の目標>

表現の特徴や語句の果たす役割について考えを述べることができる。

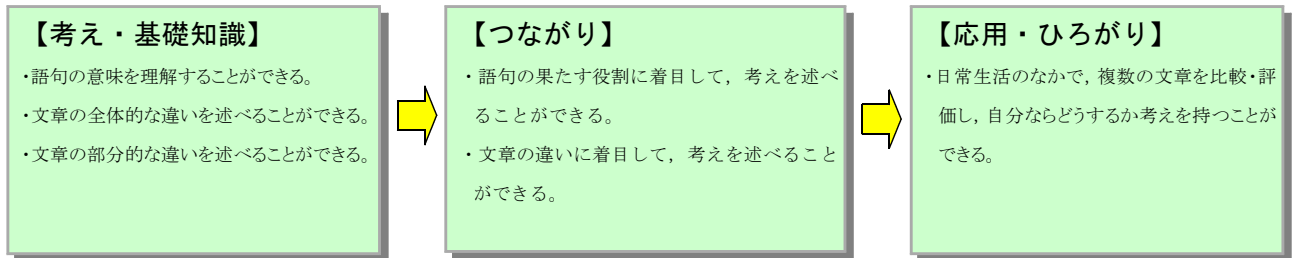
<単元の評価規準>

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・ 文章表現の違いに関心をもち、文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つようとしている。	・ 文章表現の特徴に気づき、自分の考えを持っている。	・ 語句の文脈上の意味を捉え、それが文章の中で果たしている役割を考えている。

資質・能力	評価規準		
	C	B	A
情報収集力	読解のポイントとなる表現の特徴や、語句の果たす役割を読みとれていない。	読解のポイントとなる表現の特徴や、語句の果たす役割を読みとっている。	自ら着眼点をもって、表現の特徴や、語句の果たす役割を読みとっている。
情報活用力	2つの文章の違いの1つを根拠として、考えを述べている。	2つの文章の違いを複数、根拠として、考えを述べている。	2つの文章の違いを複数、根拠として、具体的な表現を指摘し、考えを述べ

			ている。
表現力	表現の特徴や語句の果たす役割について、考えを表現することができていない。	表現の特徴や語句の果たす役割について、考えを表現することができている。	表現の特徴や語句の果たす役割について、考えを表現し、反対派にも意見をとり入れられている。

「誰に翻訳を依頼する？」のICEモデル



指導と評価の計画

(全 1 1 時間)

次	学習内容	評 価				
		関	読	言	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1	2つの翻訳文 (1)	課題の設定				
	サリンジャー「ライ麦畑でつかまえて」の2つの翻訳文を比較することを通して、本単元のゴール (パフォーマンス課題) を理解し、学習の見通しをもつ。(1)	○			どのような違いに着目して「少年の日の思い出」を読むか、計画を立てている。(行動観察・ワークシート)	情報収集力 (行動観察・ワークシート)
2	高橋健二訳の読解 (5)	情報の収集				
	高橋健二訳「少年の日の思い出」の冒頭部を読み、物語がどのように展開するか予測したうえで、本文を通読する。(1)	○			文章全体の構成について理解し、冒頭部分の効果について考えることができる。(行動観察・ノート)	情報収集力 (行動観察・ノート)
	本文の叙述を根拠にして、僕とエーミールの人物像を読解する。(1)	○			僕とエーミールの人物像が対比的に表現されていることに留意して、人物像を説明できる。(行動観察・ノート)	情報収集力 (行動観察・ノート)
	僕がクジャクヤママユを盗む場面を読み、擬人法が効果的に使われていることを理解する。(1)		○		「四つの大きな不思議な斑点」が僕を「見つめた」という擬人法に、どのような効果があるか説明できる。(行動観察・ノート)	情報収集力 (行動観察・ノート)
	クジャクヤママユを盗んだあと、僕的心情がどのように変	○			表現の特徴に注意しながら、僕の心情の変化を読みとれる。(行動観察)	情報収集力 (行動観察・ノート)

	化していったか読解する。 (1)			・ノート)	ト)
	結末部を読み、「少年の日の思い出」についての感想をもつ。(1)		○	終末部の表現から、僕とエーミールの心情について読みとれる。(行動観察・ノート)	情報収集力(行動観察・ノート)
	パフォーマンス課題(1)	整理・分析			
3	岡田朝雄訳の「少年の日の思い出」を読み、高橋健二訳との違いを探す。(1)	○	◎	小グループの論議において、自分が見つけた違いを積極的に述べている。(行動観察) 必要に応じて語句を引用しながら、文章の違いを書くことができる。(ノート)	表現力(行動観察) 情報活用力(ノート)
	パフォーマンス課題(4)	まとめ・表現			
4	高橋健二訳を支持するか、岡田朝雄訳を支持するか、立場を決めて考えを述べる。(本時3/4)		◎	○ 文の成分や表現技法に着目して、言葉の果たす役割を考えている。(行動観察) ◎ 国語的な視点で文章を比較し、文章表現について考えをもつことができる。(行動観察・ワークシート)	表現力(行動観察・ワークシート)
	出版社への質問状を完成させる。		○	文章表現についての最終的な意見をまとめることができる。	表現力(作品)

パフォーマンス課題

海外の文学作品は、複数の翻訳者によって翻訳されているものがあり、翻訳者によって文章も異なっています。ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」には、高橋健二さんによる翻訳と、岡田朝雄さんによる翻訳があります。

光村図書の「少年の日の思い出」は、高橋健二さんによる翻訳です。ほかにも多くの出版社が、高橋健二さんによる翻訳を採用しています。一方で、三省堂は、岡田朝雄さんによる翻訳を採用しています。

それぞれの教科書会社が、高橋健二さんまたは岡田朝雄さんを採用しているのは、何故なのでしょう。出版社への質問状を完成させて、調査してください。

解答フォーマット

私たちは国語の授業で、「少年の日の思い出」の高橋健二訳と、岡田朝雄訳を比較する学習をしました。私は、その学習を通して、(高橋訳・岡田訳)が優れていると考えました。

確かに、(高橋訳・岡田訳)は、です。

しかし、(高橋訳・岡田訳)は、です。

従って、私は(高橋訳・岡田訳)が優れていると考えました。

多くの出版社が高橋訳を採用しているなかで、(御社でも高橋訳・御社では岡田訳)が採用されています。差し支えなければ、採用の理由をお聞かせいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

予備的ルーブリック

尺度 (評点, レベル)	記述語 (パフォーマンスの特徴)
3 理想的	<p>全体をつらぬく分析の観点を明らかにしたうえで、複数の語句を引用して根拠とし、自ら支持する翻訳文の良さを説明することができている。</p> <p>確かに、岡田訳のほうが、登場人物の人物像が生き生きと表現されています。</p> <p>例えば、高橋訳では「ぼくは生まれて初めて盗みを犯した。」と訳されているところが、岡田訳では「ぼくは生まれて初めて盗みを犯してしまった。」となっています。このような文末から、ぼくの後悔の気持ちを読みとることができます。</p> <p>しかし、高橋訳のほうが、登場人物の人物像が好ましいと考えます。</p> <p>例えば、ぼくが謝罪してちょうの収集を全部あげるといったことに対して、高橋訳のエーミールは、「結構だよ。」と答えているのに対して、岡田訳では「どうもありがとう。」と答えたうえで断っています。このエーミールの人物像は、あまりにも嫌味で、読者が共感できないと考えました。</p> <p>以上の理由から、私は高橋訳のほうが優れていると考えました。</p>
2 合格	<p>複数の語句を引用して根拠とし、自ら支持する翻訳文の良さを説明することができている。</p> <p>確かに、高橋訳ではクジャクヤママユを「ちょう」としているの対して、岡田訳ではクジャクヤママユを「蛾」と表現しており、美しいイメージがしにくいところがあります。</p> <p>しかし、岡田訳のほうがリズムのよい文章だと考えます。</p> <p>例えば、高橋訳では「四つの大きな不思議な斑点が、挿絵のよりはずっと美しく、ずっとすばらしく、僕を見つめた。」と訳されているところが、岡田訳では「四つの大きな不思議な眼がぼくをじっと見た。図版で見たのよりも、はるかに美しく、すばしかった。」となっています。岡田訳は一文を短くすることで、リズムよく表現しています。</p> <p>また、高橋訳で「僕は突然、自分は盗みをした、下劣なやつだということを悟った。」と訳されているところは、岡田訳では「ぼくは突然知った。盗みを犯してしまったことを。自分が卑劣な奴だということを。」となっています。ここには倒置が使われており、岡田訳のリズムのよさが現れています。</p> <p>以上の理由から、私は岡田訳のほうが優れていると考えました。</p>
1 乗り越えさせたい実態	<p>複数の語句を引用して根拠とし、自ら支持する翻訳文の良さを説明することができていない。(記述語は省略する。)</p>

本時の学習

(1) 本時の目標

- ・異なる立場の意見を聞くことを通して、文章表現について考えを深められる。

(2) 本時の評価規準

- ・国語的視点で、文章表現について考えをもっている。(読むこと)



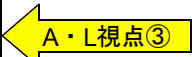
(3) 本時に身に付けさせたい資質・能力

表現力

(4) 準備物

教科書 掲示物 ホワイトボード

(5) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導等の手立て	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1 学習内容を確認する。[5分]			
○パフォーマンス課題を知る。 【本時の目標】	◇高橋訳を支持する立場と、岡田訳を支持する立場とに分かれて、小グループになる。	 	
異なる立場の意見を聞くことを通して、よりよい質問状を完成させることができる。			
○本時の流れを知る。	◇例文を見せることで、「確かに～しかし」の有用性を理解させる。本時は、「確かに～しかし」を使うことで、反対の意見を踏まえて、意見を書き直すことを理解させる。		
2 交流と発表。[37分]			
○小グループの意見を発表する。(15分)	◇前時までには発表内容をまとめ、練習させておく。 ◇分かりやすい発表ができるように、音読やホワイトボードを活用して発表することを推奨する。 ◇質問状の修正に活用できるように、意見の根拠をメモするように指示する。		
○メモした内容を全体で共有する。(5分)	◇適宜板書する。		
○小グループの発表を承けて、前時に考えた個人の意見を赤ペンで修正する。(10分)	◇「確かに～しかし」を使うことで、反対意見もふまえるようにする。 ◆とりいれる意見を推薦する。	・国語的な観点で、文章表現について考えをもっている。(行	表現力 (観察 ・ワークシート)

【理想的な解答の例】

確かに、岡田訳のほうが、登場人物の人物像が生き生きと表現されています。

例えば、高橋訳では「ぼくは生まれて初めて盗みを犯した。」と訳されているところが、岡田訳では「ぼくは生まれて初めて盗みを犯してしまった。」となっています。このような文末から、ぼくの後悔の気持ちを読みとることができます。

しかし、高橋訳のほうが、登場人物の人物像が好ましいと考えます。

例えば、ぼくが謝罪してちょうの収集を全部あげるといったことに対して、高橋訳のメールは、「結構だよ。」と答えているのに対して、岡田訳では「どうもありがとう。」と答えたくえで断っています。このメールの人物像は、あまりにも嫌味で、読者が共感できないと考えました。

以上の理由から、私は高橋訳のほうが優れていると考えました。

<p>○修正した質問状の内容を、発表する。(7分)</p>	<p>◇高橋訳を支持する立場と、岡田訳を支持する立場の双方について、意図的指名を行う。自分の意見と比較させることで、振り返りにつなげる。</p>		
<p>3 本時のまとめをする。[8分]</p>			
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇本時の授業を通して、「なるほど」と思ったことをまとめさせる。</p> <p>◇指導者から、本時の活動を評価するとともに次時の予告をする。</p>		

板書計画

少年の日の思い出

ねらい

異なる立場の意見を聞くことを通して、
よりよい質問状を完成させることができる。

本時の流れ

- 一 グループ発表
↓意見の根拠をメモする
- 二 メモの交流
- 三 質問状の修正
↓赤ペンで直しをする
- 四 振り返りをする

学習した知識

一文	文末	主語	述語	修飾語
人物像	倒置	擬人法	直喩	隠喩
反復				